

みんなで（協同）、まえへ（自立）、つながる（連携） コロナプラスの三松小に！

三松小学校  
学校通信

みまつっ子

R4年度 第3号（7/1）  
文責（校長：衛藤 慎二）



## R4 Wで田植えがスタートでき 感謝・感謝 !!

### 【6/26 おやじ学級主催の田植え】

天候にも恵まれ、おやじ学級（芝田学級長）主催の田植えが行われました。毎年、田んぼは 多良久様からお借りし、田・稲の管理などは 山田真司様にお願いしています。

泥の感触を楽しみ、田んぼの土で真っ黒になりながらも丁寧に苗を植え終わり、達成感の笑顔いっぱいの子供たちでした。本当に有り難うございました。



### 【6/27 5年生の田植え】

おやじ学級の田植えの翌日は5年生の田植えでした。この田植えの『ドロナパワー』で、皆が笑顔になり、教育活動ができる有り難さを実感しています。今後も子供たちと田んぼのケアにも努め、お米の収穫を感謝を形していきたいです。





## 7月の全校朝会 7月の生活目標「いじめのない学級をつくろう」の話

一時減少傾向にありましたが、新型コロナウイルスに関しては、市内の学校でも危機的な状況は継続しており、いつだれが感染者になるかもしれないという状況です。今回は、さかなクンの書いた『さかなのなみだ』という絵本を活用してメッセージを伝えました。



### 【あらすじ】

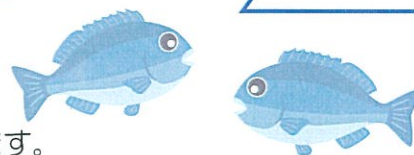
中学時代、ぼくが見たいじめは、魚の世界と似ていました。

例えば、メジナという魚は、海の中では、仲良く群れて泳いでいます。

しかし、せまい水槽と一緒に入れたら、1匹を仲間はずれにして、攻撃しはじめたのです。ケガをして可哀想で、その魚を別の水槽に入れました。

すると残ったメジナは、他の1匹をいじめはじめました。助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。いじめっ子を水槽から出しても、新しいいじめっ子が現れます。

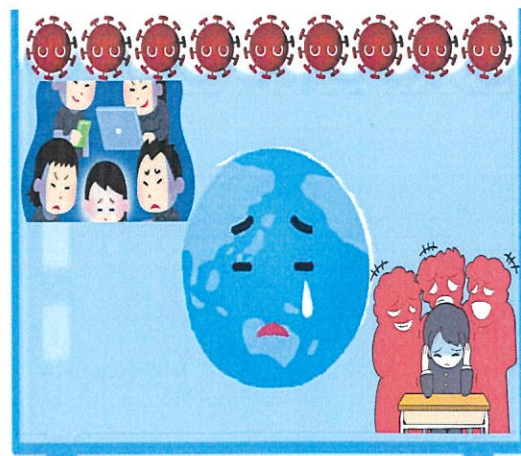
広い海の中なら、こんなことは無いのに、小さな世界に閉じ込めると、なぜか、いじめが始まるのです。同じ場所に住み、同じえさを食べる、同じ種類どうしです。



この『せまい水槽』って、コロナウイルスの深刻な影響を受けている今の社会に似ていませんか？

コロナ禍において、人々もマスクも、一部のルールを守らない人々の現在や過去の言動を厳しく批判する傾向があるように感じます。

閉ざされた水槽の中では、魚の本能として、1匹をいじめめる傾向があるようです。この本能は私たち人間にもあるのかもしれませんが、その本能に打ち克つために、道徳を中心に学校の勉強があるんだよという話をしました。



最後に、インターネット上に書き込まれたコメントや画像などは、一度拡散されると消すことが困難で、半永久的にインターネット上に残されるという『デジタルタトゥー』の話もしました。

『コロナに感染した人』は被害者です。決して、その人やその周りの人を責めたり、差別したりすることのないように 学校、家庭、地域ぐるみで確認できたら有り難いです。